

## 加藤 孝明 教授 プロフィール

東京大学 生産技術研究所 教授  
東京大学 社会科学研究所 特任教授  
博士(工学)



専門分野は、都市計画、まちづくり、地域安全システム学。

都市災害シミュレーション技術をはじめとする防災性評価技術,それを社会に結びつける「まちづくり支援技術」の開発を行う一方で、市民協働の防災まちづくりに実践的に取り組んでいる。地震防災を基本としつつ、2003年度から気候変動をにらんだ水害リスクを軽減する都市のあり方、将来のまちのあり方についての研究を進める。2006年度からは、災害後に備えた事前復興、復興準備についても研究を進める。

市街地延焼リスク評価技術に対して日本建築学会奨励賞（2001年）、地域安全学会論文賞（2007年）。また、防災まちづくりの理論と実践に対して都市計画協会楠本洋二賞優秀賞（2009年）、地域防災、コミュニティベースの防災まちづくりの研究・実践に対して地区防災計画学会論文賞（2015年）、都市住宅学会論説賞（2015年）。また、関与するまちづくり活動に対して第18回防災まちづくり大賞・総務大臣賞（葛飾新小岩北地区2013年）、レジリエンスアワード2018 グランプリ（伊豆市土肥地区）、国土交通省先進街づくりシティコンペ（徳島県伊座利集落、2018年）等、受賞。徳島県美波町伊座利にサテライト研究室設置。

### ●経歴

東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻修士課程修了後、東京大学工学部総合試験所助手、東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻助教、東京大学生産技術研究所都市基盤安全工学国際研究センター准教授を経て2019年4月より現職。

### ●主な社会活動

- ・ 東京都防災会議地震部会、東京都火災予防審議会、東京都地域危険度測定調査委員会、神奈川県地震被害想定調査委員会等の防災計画分野の専門委員を務める他、名古屋市防災対策検討委員会、東京都防災都市づくり推進計画検討委員会、名古屋市防災まちづくり計画策定委員会等、防災都市づくり計画の策定に携わる。国の社会資本整備審議会都市マネジメント小委員会、東京都都市計画審議会都市づくり特別委員会、茅ヶ崎市都市計画審議会等、都市計画分野の専門委員を務める。
- ・ 産官学による「防災まちづくり支援システム」の開発（1999-2006）、「地域防災計画支援システム」（1999-2003）、「防災情報マッシュアップサービスの構築」（2007-2012）、カメラ越しにハザードが分かるARアプリ「天サイ！まなぶくん」（2011-2012）を開発、実用化済み。
- ・ NPO日本都市計画家協会理事、地域安全学会理事、災害復興学会理事、自治体危機管理学会理事他



# ESTABLISHMENT of URBAN PLANNING and ENGINEERING for SOCIAL SAFETY SYSTEM

## 地域安全システム学の構築—地域の安全を支える技術としくみ—

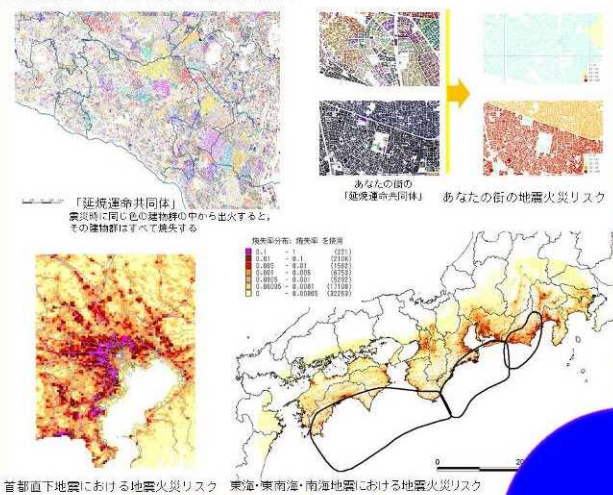


The local community can exist because the people lives there. It is universal in human life. Safety, amenity and affluence is necessary in our life. Safety is one of the most fundamental desire of human being. What have Urbanization and modernization given us, and what have they removed from us? We need ask ourselves whether we believe in safety unconditionally. Safety of urban area should be re-considered for this reason that urbanization and modernization has progress. This re-consideration is the only way to ensure our safety in our lives. Urban Planning and Engineering for Social Safety System covers social system and technology to ensure our safety in local community, urban area, and region as aggregation of urban stocks.

人がいて地域がある。地域は、人の生活において普遍的である。安全があり、快適があり、豊かさがある。安全は、人間の本能に根ざした基本的な欲求である。都市化は、我々に何を与え、何を失わせたか？日々の暮らしの中では、安全であることを所与の条件としていないか？都市化の進んだ現在こそ、地域の安全について再考する必要がある。再考しつづけることこそが地域の安全を確保する唯一の手段である。地域安全システム学では、都市ストックの集合体としての地域を対象に、誰もが安全で安心して暮らせる社会のシステムを考える。

### A. 市街地の脆弱性を把握、評価する

自然災害に対する市街地の脆弱性評価



### B. 対策を社会と共に考える

気候変動への市街地側の適用策／防災まちづくり手法論／防災都市づくり計画論

多岐情報を用いたリスコミュニケーション

広域ゼロメートル地帯市街地2058PLAN / Below-Sea-Level City 2058 PLAN

ワークショップ手法による対策検討・計画づくり

地域住民 NPO 行政 大学

多様な組織との連携による「新しい公共」

## 地域安全システム学の構築

復興イメージトレーニング手法の構築

四川地震被災地調査

四川地震復興計画の策定

災害からの都市・地域復興に関する研究／災害復興から考える都市の将来ビジョン

Function of PSS

- recognizing the present problems
- Considering the alternative of new plans and measures
- Checking of effectiveness of mitigation
- Implementation of plan and measures

The first stage

The second stage

Re-consideration

計画策定支援システムの機能

地域防災計画支援システム

防災まちづくり支援システム

計画策定支援システムの事例

評価に基づく対策実行、プランニングができる環境を実現

社会的しくみとしての防災情報マッシュアップシステム

### C. 計画者の立場から被災に備える

### D. 安全・安心社会の実現を技術的に支援する

本研究に関する担当研究室は加藤孝明研究室です。  
 部屋は東京大学生産技術研究所B棟6階のBw-605  
 電話：03-5452-6474, FAX：03-5452-6476  
 E-mail: kato-t@iis.u-tokyo.ac.jp  
 HP: http://kato-sss.iis.u-tokyo.ac.jp

For further information, contact below.  
 Associate Prof. Takaaki Kato, Dr. Eng  
 #Bw-605, Institute of Industrial Science  
 TEL: +81-3-5452-6474, FAX: +81-3-5452-6476  
 E-mail: kato-t@iis.u-tokyo.ac.jp  
 HP: http://kato-sss.iis.u-tokyo.ac.jp